

【エクアドル内政・外交：2011年1月】

1. 概要

- 1月 4日 麻生元総理他衆議院公式派遣団、当国訪問
- 20日 キム・テヨン韓国企画財政部副部長、当国訪問
- 21日 NGO アビィナ・ファンデーション、ヤスニ ITT 信託基金に支援表明
- 22日 ブラジルに人道支援
- 27日 国勢調査速報値発表
- 30日 ロドリゲス・キューバ外相、当国訪問
- 31日 閣僚交替

2. 内政

(1) 閣僚交替

31日、コリア大統領は電力・再生エネルギー大臣にエステバン・アルボルノス元電力・再生エネルギー大臣(Esteban Albornoz)、国家透明管理庁長官にエドウィン・ハリン元内務省次官(Edwin Jarrin)、民衆・社会運動・市民参画庁長官にマリア・ルイサ・モレノ前マナビ県中央政府県行政官(Maria Luisa Moreno)を任命した。

(2) 与党議員の離党

25日、アモレス与党議員(Betty Amores:ピチンチャ県選出)は国家同盟(AP)を離党する旨公式に発表した。

26日、グラシア与党議員(Cesar Gracia:エスメラルダ県選出)は国家同盟(AP)を離党する旨公式に発表した。

28日、ロモ与党議員(Maria Paula Romo:ピチンチャ県選出)率いる“政治運動 Ruptura25”は現政権を支援せず離れる旨発表した。

(3) 国勢調査速報値

27日、国政統計調査局(INEC)は客年11月28日に実施した国勢調査の速報値を発表した。総人口は1,430万6,876人(ピチンチャ県257万201人・グアヤス県357万3,003人)、2001年実施の国勢調査より215万268人(14.6%増)増え、2001-10年期の年間増加率は1.52%、人口密度は1平方キロメートルあたり55.8人と発表した。

3. 外交

(1) 対日関係

4~6日、麻生元総理他衆議院公式派遣団が当国を訪問した。コリア大統領と会談したほか、パティーニョ外相、コルデロ国会議長、エクアドル・日本友好議員グループなどと会談を実施した。

(2) 対韓関係

20日、リベラ財務大臣は韓国が実施を希望する融資協力を分析すべく、キム・テヨン韓国企画財政部副部長(財務副大臣に相当)を団長とする韓国政府代表団と会談した。キム副部長は、上水及び風力エネルギーに係る案件融資の用意があると表明した。

(3)ヤスニ ITT プロジェクト

21 日、アビナ・ファンデーション(Avina Foundation:1994 年設立・ラ米の持続可能な開発を支援する国際 NGO 組織)は、ヤスニ ITT 信託基金に総額 10 万ドルを出資した。遺産調整省にて式典が行われ、エスピノッサ遺産調整大臣、バキ・ヤスニ ITT 運営交渉委員長、エウリアア(Maria Eulalia Pozo)アビナ代表が出席した。

(4)対ブラジル関係

22 日、政府は国家危機管理庁を通じ、集中豪雨の被害を受けたブラジルに人道支援物資を送った。右物資は米系運送会社 DHL により日用品・食料品 850 セット、飲料水 3,000 ガロンなど総量 34.45 トンが搬送された。

(5)対キューバ関係

30 日～2 月 2 日、ロドリゲス・キューバ外相はエクアドルを訪問し、コレア大統領、モレノ副大統領と会談した。また、パティーニョ・エクアドル外相と第二回政策協議を行った。